



11/10～27日に行われた令和5年秋の祭典「大輪祭」の様子を紹介します！

挑戦 ～個性×つながり×協力～

今年の「大輪祭」のスローガンは「挑戦～個性×つながり×協力～」でした。準備から本番まで、子供たち一人一人が自分の力を精一杯発揮して、自分の役割を果たし、自分たちの発表に協力して挑戦する姿が見られました。本番を終えた子供たちは成就感と自信に満ちた表情を見せてくれました。また、他学年の発表を見合ったり、一緒にポスターや掲示物等を作ったりして新たなつながりも生まれました。子供たちのキラリ＆ホットな姿を見てもらえるよう、地域の方々にも早くご案内ができるようになることを楽しみにしています。今後とも応援をいただけますようお願いいたします。



校長：伊賀 匡

学校全体に見事な大輪の花が咲きました

今年度の大輪祭は『挑戦～個性×つながり×協力』をスローガンに開催しました。スローガンの通りたくさんの子どもたちが挑戦する姿や学部を超えて繋がり、協力する姿を見ることができました。特に今年度は久しぶりに学部をまたいでの発表参観や来校者数の緩和があり、子どもたちの大輪祭に対する想いがより強くなり、いつも以上の力が出せた大輪祭になったと思います。

この学校だよりの裏面やホームページに、大輪祭の様子を掲載していますので、ぜひ見ていただけたらと思います。



大輪祭実行委員長：不二宏伸

<各部の紹介>

<小学部> 4月からがんばってきたことを、力いっぱい発表しました。



<中学部> 自立1・2グループ「なかまと 心ひとつに レッツチャレンジ！」

「麻機太鼓」の学習を活かし、和太鼓の演奏に挑戦しました。また、普段からお世話になっている保護者の方や、発表を見に来てくれた人に「香り袋」を作って渡し、感謝の気持ちを伝えることができました。



<高等部> 生1・2グループ「あさはたのよさを伝えよう」

生活単元学習で見つけた『あさはたのよさ』を発表し、作業製品を販売しました。

ミスアオイ
カヤネズミ



ザリガニ釣り



レンコン



くるみボタン



販売



ポーチ



<病弱学級・訪問学級>

こども病院内にある訪問教育そよかぜでは、本校の教室で『茶処そよかぜ』を開催しました。来店してくれた先生や中学部・高等部に、そよかぜの生徒達が心を込めて淹れた『お茶』でおもてなしすることができました。「お茶淹れ、とても緊張したけれど、笑顔で頑張りました。」「みんな、とても丁寧に お茶を淹れできました。」などの感想をもち、お客さんに喜んでもらえたことを実感することができました。



<寄宿舎の秋の活動>

寄宿舎では、キャンドル作り、卒業生の話、ロゲイニング、お菓子作りなど様々な活動を行っています

